

授業科目名 (英文名)	精神障害論 (Mental Disorders)	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	2年次・後期
担当教員	田中 究 柿木 達也	所属	兵庫県立ひょうごこころの医療センター 兵庫県
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	精神科のみならず一般身体科において精神医学的あるいは心理学的な課題を抱えた患者は少なくない。こうした課題への対応、心理学的アプローチは援助専門職には不可欠である。こうした課題や対応などを学び、看護に通底する精神医学の方法論を学ぶことを通して、看護とは何か、患者の支援とは何かを学ぶことをねらいとする。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>精神科医療の文化的背景、患者の人権、精神科診断学、症状論、経過論、治療論、ノーマライゼーションなどに触れながら、精神疾患について学び、一般看護に不可欠な基本知識の修得を目標とする。講義の順序、内容は適宜変更することがある。</p> <p>授業計画</p> <p>1 回目 精神医学総論 (疾患概念・用語)</p> <p>2 回目 統合失調症圏の疾患</p> <p>3 回目 気分障害圏 (双極性障害 (躁うつ病)) の疾患</p> <p>4 回目 不安障害とその周辺</p> <p>5 回目 心的外傷とその影響</p> <p>6 回目 発達の課題と障害 (主に自閉症スペクトラム)</p> <p>7 回目 高齢者の精神疾患と認知症</p> <p>8 回目 精神科の治療</p>		
テキスト	看護のための精神医学」中井久夫・山口直彦 (医学書院2001)		
参考文献	副読本を適宜紹介する		
成績評価の基準・方法	出席を重視し、授業ごとに小レポートの提出を求める。また講義中の質問、独創的な意見発表なども歓迎し、評価する		
履修上の注意・履修要件	遅刻、欠席は大きな減点となる。		
実践的教育	県立病院及び行政機関の医師が教員として実務に関連した内容の授業を行なっている		
備考			